

「島よ」

全部で5回出てくる「しまよー しまよー」

毎回、身体を使って、計算された準備をして確実に合わせよう！

P5 「つばさもなく」「ひれもなく」の [な] は、たての（奥をあけた）[な]

P6 「たえているもの」の [て][い][る] で確実に cresc. そして [の] の3拍目の頭まで保って dim.

P7 ユニゾンの「めにみつめられて」の [れ] の音 は C(ツエー) ←Des(テス)ではない

P10 Ten. 「みすてられた」、Sop. 「そのかなしみ」は cresc. をしっかりして上の音[ら]、[な]をつかない

P11 「うおのように」 アルト以下はソプラノのメロディーが聞こえる大ききで（控えめに）

P12 Sop. の Hum. は滞空時間を持って間の音も入れて（無機的に歌わない）

P14 Sop. の出だしの [な] は ベースの[ぜ]と同じ音の1オクターヴ上 高めに決める

P17 の最後 Bass 「しまはひっそりと」の [は]の音、違って覚えていた人は修正

P23 「あめー あめ あめ」 各パート音を勘違いしている人がいるので 各自修正

P25 「かずしれぬ」 Sop. は Ten. [る]の半音上から入って、幅の狭い半音で動く

P31 「うしなわれる」は calma（落ち着いてゆっくり）「じぶんを」は4パート合せて（Ten. 出すぎない）

P32~33 ten. 「なかに」の [に]の音程 C(ツエー)→Des(テス) 各自、再確認

P44~P45 の Adagieto dolcemente： 聴きあって 縦を合わせよう！

P51 sop. 「みしらぬ」の[ら] 「といきーの」の[き] どこまでも伸ばせるくらいたっぷり

P51 下の段 ten. 「ひろがる」の出だしの[ひ]の H(ル-)の音チェック！ B(ハ-)ではない

P54 の最後 sop の前打音 (Eis アイ) は指揮を見る（多分、引っ張る…）

P55 下の段 男声「なおとおい」の[と]の D#(ティ)の音が正確か、各自確認

「まもり」と「つづける」の間ではプレスをしない

P58 下の段 男声の「しまよー」は『え、自分だったの！』と気づいた焦り、迷いを表現

※

『各自で確認・修正』が何か所かありますが、今後のアンサンブルで復習する時間はないので、ホントに各自復習！

「帆を上げよ、高く」

※

練習の冒頭、この曲が男声合唱のために作曲・初演された経緯、そしてそれが混声に編曲をされ、今年のアーリーサマーコンサートで混声版初演が出来ることになった経緯を小久保先生がお話をしてくださいました。配信された練習録音でご確認ください。

併せて楽譜の前書にある信長貴富、みなづきみのり両氏のメッセージをもう一度読みましょう。

1. 翼よ、お前の空を翔ける

- ・練習番号 A 4小節ごとに区切りを入れ、パターンとして歌う
- ・練習番号 B 35小節目で転調
- ・練習番号 C 42小節目のピアノ右手の音階をコーラスで（調は違うが）繋いで歌うのが新しいパターン
- ・練習番号 E 「じゆうというなのそらを かけろ」 ← この曲のクライマックス
- ・練習番号 G 全音音階（79小節目で半音上がる）

※

自分のパートの役割を理解し、他のパートからつながり、他のパートにつながっていく流れの中で自分のパートを自然に歌えると面白くなりますね。

2. 春愁のサーカス

謎解きのような隠されたモチーフについては追々。

5拍子の和音の二面性（前の三つと後の二つの響きが違い、ギクシャクした関係になっている）を感じよう（たとえばP34～P36）。それに対して練習番号Iからの6拍子になると開放的な感じになることも。

練習番号Lのコラールのような部分は全体のハーモニーの中で自分の音をとって行こう。

パートソロ（Ten「かなしいほほえみをのこして」、Bass「ああ ピエロよ・・・」）は敢えて少ない人数にしてメッセージ性を高めている。自信を持って歌えるようにしておきましょう。

3. 帆を上げよ、高く

新島襄の英語の歌詞について、次に休符がある時の語尾は休符の頭で合わせる。

但し、57小節目の[you] は三拍目のTenの[Go]に掛からないように短めに拍内で切る。

練習番号Jからのフーガの強弱記号に注目。f(フォルテ)のパートを追いかける旋律はmf(メゾフォルテ)で書かれている。主主題を歌っているのか、追主題を歌っているのか、顔になるパートがどこなのかを理解して歌おう。ここでエネルギーを使い果たさないよう、練習番号Qに向かって配分を考えましょう。

※

2曲目、3曲目はテンポの変化の記号が沢山出てきます。上の段のソプラノにしか書かれていない箇所もあるので、楽譜を全体的に見直して自分のパートの上にも書き足しておいてください。accel. rit.等の記号はその箇所からキチンとスタートするようにと作曲者は指示をしています。

2018/05/23

文責：関@13期